

第3章

“とちぎ”の将来像

今、私たちは、人類史を画する歴史の転換点に立っている。そして我が国は、明治以来続いた先進諸国に追いつこうとする成長の時代に別れを告げ、世界のリーダーの一員として、真に成熟した国へと生まれ変わろうとしている。

私たちは、新たな日本を創造するフロンランナーの気概を持って、このすばらし

い郷土“とちぎ”の魅力と可能性を活かし、希望と誇りの持てる自立した地域として持続的に発展させていく。

このためには、私たち一人ひとりが、個性と能力を十分に発揮し、互いに連携し支え合いながら、夢と創造にチャレンジし、歴史の転換点を越えた新たな地平を切り拓いていくことが必要である。

1 “とちぎ”の将来像

これまで見てきたように、私たちの郷土栃木県は、恵まれた立地条件や豊かな自然、多彩な文化、誠実で勤勉な県民性など、優れた特性やさらなる飛躍の可能性を秘めている。

私たちは、時代の変化に的確に対応し、本県の持つ可能性を最大限に活かしながら、私たちの“とちぎ”を、人々が豊かで活力に満ちた生活を営み、自然や街並み、そして人々の心が美しさとやさしさにあふれる郷土としていく。

私たちが目指す郷土は、担い手たちがしっかりとした気概を持ち、生きる喜びと明日への希望が満ちあふれる“とちぎ”。都市や農村、山河や森林など、命あるものすべての活動の舞台に四季が輝き、温かい思いやりの心とみずみずしい感性が宿る“とちぎ”。そして、未来の子供たちにさらなる可能性を約束する、そんなみんなが愛し、創り出す郷土“とちぎ”。

私たちは、このような郷土の将来像を、

「**活力と美しさに満ちた郷土“とちぎ”**」

として掲げ、このすばらしい栃木県を次世代に確実に引き継いでいく。